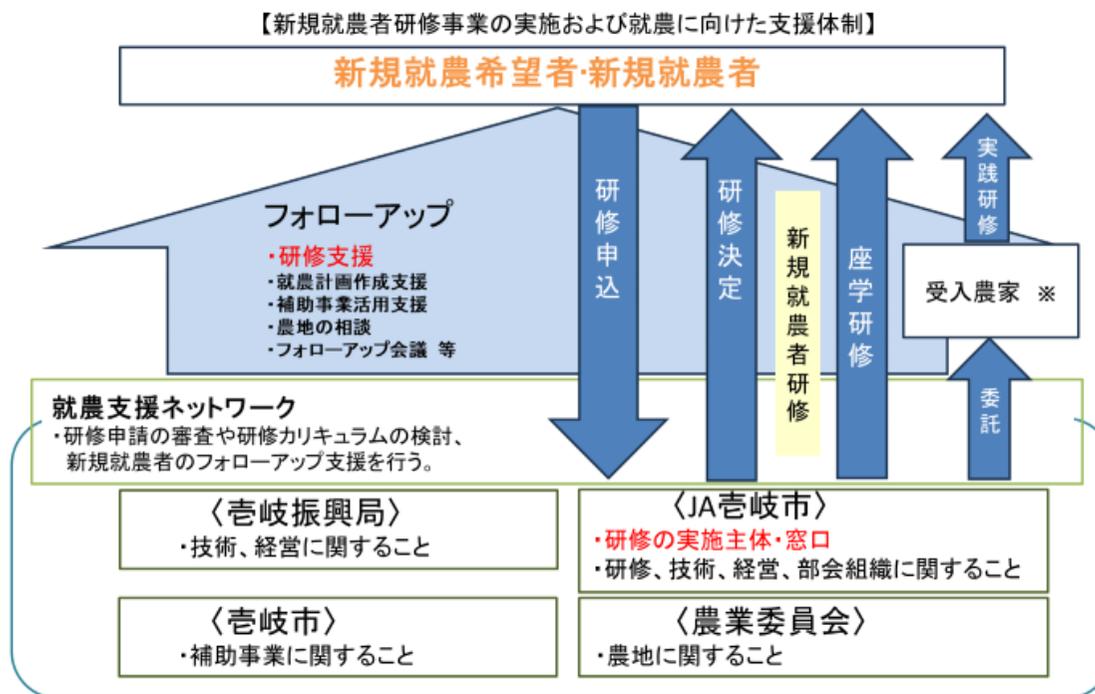


# 新規就農を地域でサポートする体制の事例①

## 吉崎市農業協同組合 (長崎県吉崎市)

- 市では県平均以上に農家の高齢化が進む中、JAは平成15年度から、いちごとアスパラガスを中心に、新規就農者の研修事業を開始。
- 従来は、先進農業者の下での研修だったが、研修生の経営力向上には、自らの判断により模擬経営できる場を要した。そこで、令和4年度、サポート体制構築事業を活用し、環境制御装置を備えたいちごハウス2棟を整備。翌年、計2,250時間の実習を実施。
- JAは、技術指導の担当職員1名を新たに雇用し、体制を強化。
- また、空家バンクによる住居のあっせんや、農地バンクが中間保有する農地を紹介するなど就農候補地の選定を支援。
- 取組の結果、新規就農者数は、過去3年間（R1～R3）平均が約10名に対し、令和5年度には13名になり、約126%に増加。



※受入農家については、長崎県の受入団体等登録制度に登録された農家・組織とする。